

令和元年度事業報告書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1 法人の概要

名称 学校法人 松江幼稚園 (昭和56年4月1日法人設立)
理事長 額田 光昌
住所 和歌山市松江中3丁目1番35号
電話 073-453-0050 FAX 073-453-0099
設置校 まつえ幼稚園 (昭和24年10月1日創立)
役員 理事 12名、監事 2名 評議員 25名
理事会 4回開催 評議員会 4回開催
職員数 園長 1名
教頭 1名
教務主任 1名
教諭 13名
パート教諭 19名 添乗員 4名
事務長 1名
事務員 2名
委託職員 運転手 4名

2 事業の概要

(1) 教育方針

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和のとれた保育により、生きる力を身につけた子どもの育成をめざします。

(2) 事業内容

- ① 幼児教育事業 (年長・年中・年少・満三歳児)
- ② 早朝預かり (7:30～)、延長預かり (～17:30)
長期休暇中預かり (春休み・夏休み・冬休み) 事業
- ③ 満2歳児預かり (まつっこキッズ) 事業
10:00～13:00 (月・木) (火・金)

(3) 事業報告

幼児教育・保育の無償化が始まり、幼稚園における事務量が増加し、その対応に追われてしまいました。これからは幼児教育の質の評価が問われます。

令和元年度も教諭一人ひとりが一生懸命に保育や様々な研修に熱心に取り組み、事業も順調でした。公認会計士による監査と監事による監査の結果、財務は適正に行われていると報告を受けています。

新型コロナウイルスの対応に世界中が苦慮する中、私立幼稚園では各幼稚園に判断をまかされました。どうするか判断に大変悩みました。

未入園児の遊ぼう会 年5回延べ379名参加

(4) 在園児数

令和元年度定員及び在園児数

	定員(人)	在園(人)		備考
		園児数	クラス数(クラス)	
年長	100	102	4	
年中	100	107	4	
年少	100	109	4	
満3歳児	20	20	1	6月から

(5) 保育の計画性・保育の在り方

しつけの3大原則「挨拶をする」「履物をそろえる」「ハイとはっきり返事」が大切だと考えています。子どもたちが、いろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら、創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育しています。

(6) 教員の資質向上

幼児に寄り添う人的環境として、良質な教諭が安定して長期に関われる体制を作ることが重要である。そのために自己の教育のあり方について毎学期自己評価を行い、日々研鑽して質の向上を図っている。また、様々な研修を行い5領域に分けて研究し、毎学期発表している。

5領域の各部会の研究テーマ		
	領域名	研究テーマ
1	健康	子ども達の柔軟性が養われることで、バランス感覚や運動遊びの様子がどう変化していくかを追う
2	人間関係	人と関わることでどのような変化(成長)が見られるか追う
3	環境	数量、文字、図形などの遊びを通して子ども達がどのように変化していくのか
4	言葉	様々な経験を通して、子ども達の言葉がどう変化していくのかをみる
5	表現	音楽、音、歌に出会った子ども達が気付いたり感じたことをどのように表現し、遊びに取り入れていくかを追う

(7) 地域との連携

幼稚園や家庭を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持っている。幼稚園、家庭、地域が連携協力しながら地域社会全体で子どもの育ちを支えていく必要がある。

・高齢者との交流・・・思いやり等「道徳心」を養う幼児教育実践のため高齢者の方々と交流している。

福祉施設等における訪問(年2回、年長2クラスが2回に分けて別の日に訪問する)、来園など積極的な参加(年6回)。

歌、ぶんぶんごま、絵本を読む等できるだけおじいさんおばあさんの近くで歌ったりパフォーマンスを行った。

来園された方はクラスに入ってもらい子ども達と手遊び等して一緒に遊んだり、見学してもらったりした。

子ども達も緊張したみたいですが、良い経験になったと感じた。

- ・ 小学校との交流・・・地域の小学校の1年生と交流。幼稚園に来てもらい、ドッジボール、ジャンケン列車をしたり、けん玉を見せてもらったり（けん玉には釘づけになっていた）歌をうたったりと楽しそうだった。遊戯室で小学生からのクイズで盛り上がった。ドッジボールでは手加減をしてくれたり、ボールを譲ってくれたり小学1年生らしい行動だった。
 - ①秋に公園にどんぐりや落ち葉拾いも学校との日程が合わなかった為、実現できなかった。
 - ②コロナウイルスの為、小学校に行く事が中止となった。
- ・ 地域との交流・・・園開放、事前音楽会には地域の方にも回覧板等でお知らせしている。地域の避難訓練や様々な活動に幼稚園として積極的に参画し、社会教育との連携を深める。

地域の方々のご厚意により毎年さつまいもや大根を植えていただいています。

地域の独居高齢者「ふれあい会」でも園児が歌や手遊びを一緒にして過ごしている。（高齢者の方の近くに寄ってにらめっこをしたり、肩を揉んだり「しあわせなら手をたたこう」「山寺のおしょうさん」等ふれあい遊びをした。

始めは緊張ぎみだが、ふれあい遊びをするうち表情がほぐれてきた。

第1回松江地区夏まつり「まつえはひとつ」を松江小学校で開催。先生方や園児も盆踊りを覚えて一緒に踊り、夜店も愛育会のお母さん達が協力した。

(8) 安全管理

- ・ 地震、火事等の避難訓練(予告あり、予告なし)を計画的に実施するとともに、日頃からバスからの避難訓練、早朝預かり保育や保育後の預かり保育での避難訓練、引き渡し訓練を実施し、災害時には教職員の指示を聞き適切な行動が素早くとれるよう様々なパターンで避難訓練を実施している。また、年1回消防署からも来ていただき、白煙をたいて本番さながらの避難訓練もしている。
- ・ AEDもいざという時に誰でも使用できるように使い方の勉強や、毎月機械の点検をしている。
- ・ 教員やバス添乗員も非常ブザーを腰に携帯していて、月1回電池切れしていないか点検している。
- ・ 犯罪から子どもたちや職員等の命を守るため、ボタンを押すだけで警察へ通報出来る「110番直結非常通報装置」を設置している。

北警察署に依頼し不審者訓練を実施。午前中に、職員が不審者になり子ども達との対応訓練。子どもが帰った後から職員と警察官による訓練。いつものことながら必死に対応。不審者に扮した警察官が園庭側のフェンスを乗り越えて、いつもの訓練とは違うルートから侵入。警察側でもいろいろと考えて頂き助かっている。ネットランチャーも使用。さすまたの訓練や防犯対策の話も聞くことができた。
- ・ 園の施設・設備・遊具等の安全点検を毎学期確認し、改善している。
- ・ 砂場も月1回消毒している。
- ・ アレルギー疾患の理解とアレルギー疾患のある子どもを把握し、特に食物アレルギーのある子どもには保護者に詳しい情報の提出を求め、教職員で把握できるようにしている。

- ・学校薬剤師を配置し、一般的に環境衛生に関する指導、騒音や照明の明るさの検査、医療品の管理、水泳用プール、教室の空気、飲料水などの検査をする。園児の快適な幼稚園環境をつくるために、指導助言をいただいている。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況と経年比較

	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
固定資産	751,731,862	582,828,389	648,996,693	636,713,826	619,680,720
流動資産	257,150,350	154,553,085	61,376,614	67,233,939	68,378,845
資産部の合計	1,008,882,212	737,381,474	710,373,307	703,947,765	688,059,565
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	142,890,522	11,624,199	8,143,508	1,149,242	1,805,394
負債の部合計	142,890,522	11,624,199	8,143,508	1,149,242	1,805,394
基本金	945,801,459	673,179,618	679,040,786	677,410,458	679,601,466
繰越収支差額	△ 79,809,769	52,577,657	23,189,013	25,388,065	6,652,705
純資産の部合計	865,991,690	725,757,275	702,229,799	702,798,523	686,254,171
負債及び純資産の部合計	1,008,882,212	737,381,474	710,373,307	703,947,765	688,059,565

② 資金収支計算書関係

収入の部	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
学生生徒等納付金収入	72,042,360	49,279,650	50,120,250	53,602,500	52,547,700
手数料収入	131,000	149,000	114,000	114,000	133,000
寄付金収入	588,000	530,000	724,000	315,000	491,000
補助金収入	222,344,602	58,627,300	102,980,300	104,007,209	96,781,560
資産売却収入	0	0	650,540	0	0
付随事業・収益事業収入	7,240,982	6,396,175	6,433,638	6,659,779	6,986,037
受取利息・配当金収入	7,902	7,827	23,613	71,887	1,603,240
雑収入	1,549,163	10,795,342	6,092,416	2,119,845	1,072,683
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	216,583,275	194,106,534	102,522,584	90,259,978	84,758,701
資金収入調整勘定	△ 138,925,990	△ 52,060,700	△ 4,478,425	△ 806,250	△ 990,350
前年度繰越支払資金	102,011,343	56,004,826	65,122,005	65,670,490	65,918,612
収入の部合計	483,572,637	421,780,354	330,304,921	322,014,438	310,572,576

支出の部	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
人件費支出	97,100,080	111,052,060	100,459,538	95,027,855	96,461,341
経費支出	54,618,965	48,253,369	53,492,654	40,350,930	41,231,200
借入金当利息支出	0	0	0	0	0
借入金当返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	271,572,400	63,561,600	0	1,026,864	0
設備関係支出	4,276,786	1,162,058	6,032,558	10,961,728	2,277,545
資産運用支出	4,836	4,827	20,005,598	20,011,597	20,011,236
その他支出	80,783,953	107,103,040	102,393,701	91,052,561	87,082,226
資金支出調整勘定	△ 142,921,202	△ 11,367,943	△ 8,083,954	△ 1,539,102	△ 2,161,462
翌年度繰越支払資金	118,136,819	102,011,343	56,004,826	65,122,005	65,670,490
支出の部合計	483,572,637	421,780,354	330,304,921	322,014,438	310,572,576

③ 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		令和1年度	平成30年度	平成29年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	72,042,360	49,279,650	50,120,250
	手数料	131,000	149,000	114,000
	寄付金	588,000	530,000	724,000
	経常費等補助金	91,242,602	111,760,700	102,980,300
	付随事業収入	7,240,982	6,396,175	6,433,638
	雑収入	1,549,163	10,795,342	6,092,416
	教育活動収入計	172,794,107	178,910,867	166,464,604
	事業活動支出の部			
	人件費支出	97,100,080	111,052,060	100,459,538
	経費支出	666,569,503	60,022,829	52,577,075
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	163,669,583	171,074,889	153,036,613
	教育活動収支差額	9,124,524	7,835,978	13,427,991
	教育活動外収支	事業活動収入の部		
受取利息・配当金		7,902	7,827	23,613
その他教育活動外収入		0	0	0
教育活動外収入計		7,902	7,827	23,613
事業活動支出の部				
借入金当利息		0	0	0
その他教育活動外支出		0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0
教育活動外収支差額	7,902	7,827	23,613	
経常収支差額		9,132,426	7,843,805	13,451,604
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	650,540
	その他特別収入	131,102,000	44,811,000	0
	特別収入計	131,102,000	44,811,000	650,540
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	11	29,127,329	4
	その他特別支出	0	0	14,670,864
	特別支出計	11	29,127,329	14,670,868
	特別収支差額	131,101,989	15,683,671	△ 14,020,328
基本金組入前当年度収支差額		140,234,415	23,527,476	△ 568,724
基本金組入額合計		△ 272,621,841	0	△ 1,630,328
当年度収支差額		△ 132,387,426	23,527,476	△ 2,199,052
前年度繰越収支差額		52,577,657	23,189,013	25,388,065
基本金取崩額		0	5,861,168	0
翌年度繰越収支差額		△ 79,809,769	52,577,657	23,189,013

(参考)

事業活動収入計	32,618,991	223,729,694	167,138,757
事業活動支出計	12,063,406	200,202,218	167,707,481

4 今後の課題

外部、内部の研修を通して教諭一人ひとりが研鑽し、園全体の保育の質を一層高めていく。「あいさつ」「履物そろえ」「はいの返事」が大事だと考え、これからも実践していく。